

第92回神教組定期大会方針決定！

～平和憲法を守り、「教え子を再び戦場に送るな」をあらためて誓う!!～



2017年6月9日（金）～10日（土）、サンピアンかわさきにて神教組の第92回定期大会が行われました。

神教組芹沢執行委員長は冒頭のあいさつの中で、「ゴールデンウィーク中に2020年の憲法改正、9条の改訂を明言した安倍首相は、年内には新たな憲法改正案を党としてまとめるように指示し、改憲にむけた具体的なロードマップを突きすすめています。このような政権の姿勢を見ると、このままでは、いつか来た道を繰り返すことになると思わざるを得ません。」と述べました。このような状況をふまえ、神教組は、「平和憲法を守り、

『教え子を再び戦場に送るな』をあらためて誓う!!」とスローガンを立てました。

今回の定期大会においても各地区教組の質疑・討論で様々な課題があげられ、外国語の教科化にともなう負担増、高校入学者選抜、外国につながる子どもへの職員配置改善等がありました。湘南教組からは、特別の教科 道徳、臨任・非常勤職員の処遇改善、教職員の働きやすい職場、通級指導教室の教員数、給与システムの不具合、核廃絶、今後の衆院選などについて発言し、神教組に対して強く訴えることができました。また、湘南教組は7本の修正案を提出しました。

引き続き、女性部長として鎌倉山崎小分会の大橋由紀子さん、書記次長として茅ヶ崎松浪小分会の谷雅志さんが、私たちの代表として神教組で重要な役割を担います。湘南教組 120 分会でしっかりと二人を支えられるように、とりくんでいきたいと思ひます。



第293回湘南中央委員会

湘南教組は、6月30日（金）、「第293回湘南中央委員会」を開催しました。佐藤大輔執行委員長のあいさつで、「弁護士の椋 大樹（はんどう たいき）さんを招いての学習会『檻の中のライオン～立憲主義って何だろう～』にふれ、『ライオン=国家権力』と『檻=憲法』にたとえた話が大人にもわかりやすく、授業にも活用できる内容であること。ライオン（国家権力）が檻（憲法）を壊して危険なこと（戦争）をしないように丈夫な檻（憲法）にしておくことが、今、主権者である私たちに求められていると話しました。衆議院議員のあべともこさんの国会報告の中で、「森友・加計問題は教育への介入でもあり、教育が歪められていることが深刻です。今はあらゆる意味で困難に溢れているけれど、あらゆる意味でみなさんの仕事はやりがいがあると思ひます。今、新しい時代に入ろうとしています。それは、教育、教育、教育が全てを変え、未来を創り、新たな時代を切り開く窓口の突端にみなさんはいます。どうかご自身の健康に留意され、おもいきり話して、いろんな工夫をして、力強く前にすすんでください。私も国政でがんばります。」と熱く語られました。

各分会からは多くの質問や意見があり、支援級の児童が交流できる場を増やしてほしい、英語の教科化に伴う人的配置をしてほしい、今後の賃金や退職金はどうなっていくのか、教科書採択のとりくみ、臨任・非常勤の人事評価、共謀罪についてもっと詳しく教えてほしい、などの声があげられました。学校現場の状況等を聞くことができ、執行部一同、今後の課題としてしっかりと受け止めて、改善にむけてとりくみます。また、次回の中央委員会においても活発な議論をお願いします。

気になる話題のニュースを
サクサク読める!

湘南ピース通信 2017

連載第1回 共謀罪はダメ! 絶対! ①

DID YOU
KNOW?

東京オリンピック・パラリンピック開催のために、「テロ等準備罪」という法律を新たに成立させてしまいましたが、どんな内容なののでしょうか?

《2人以上が犯罪の計画(共謀)して、その後に準備行為というのがあったら、計画された犯罪が本当に実行されなくても、その相談(共謀)自体を罰する》という法律です。これまで3回も廃案になった共謀罪が名前を変えただけなのです。

政府は「組織的犯罪集団」だけが対象で、私たちのような一般人は関係ないと説明しているようです。「組織的犯罪集団」と言うのもっともらしいですが、政府は「一般の団体でも活動内容によっては組織的犯罪集団になる。」と説明しています。

しかし、その具体基準がさっぱりわかりません。だから、結局は、取り締まる側の判断でどんどん「組織的犯罪集団」の範囲が広がる危険性があります。ですが、多くの一般人は、「犯罪の相談(共謀)なんかしないので、私たちには関係のない法律だ」と思っている人も少なくないと思います。昔の治安維持法も、一般人には関係ないと政府から説明があって、それで法律ができたのですが、結果的に色々な団体、色々な人が処罰されました。だから、

「自分には関係ない」なんて思っていたら、大間違いですよ! あなた!

この続きは連載第2回をお楽しみに!!

執行部のつぶやき⑫

ある日とつぜん

何かつぶやいて!



と、ふたもこりカーの書記長からムチャ振りがとんでくる。しかも、

あんまりマジ×なのじゃなくて、何かつぶやいてよ!

…意味がわからない。そもそも私は大変マジ×な性質なのです。そんな

モヤッとした指示にどう反応したものが…しかもだいたいいつも副委員長あたりから「おまえは自分のことばかりだ!!」と言われて、それは確かにその通りなのだけど若干くせしい気もするんで、それなら

他人のことも書いてはあうかとも思ったのですが、自分、副委員長は「そーゆーことじゃナイ!!!」とおっしゃるでしょう。では、どうしましょうか…というわけで、誰のこともないことを書きます。

あなたは きのこ派? たけのこ派?

…どちらが好きでも、どちらにも興味なくても、

どちらも好きでも、「すぎのこ」派でも、幸せになれたらいいですね!



福島の子どもたちを湘南へ！

今年度も夏の日差し溢れる湘南で、福島の子ども達と一緒に！

参加募集内容

7月29日(土) 10:00~14:00 地引き網と砂浜遊び

締め切り 7/20(木) FAX 0466-82-1638 カンパもよろしくお願いします！

※詳細は6/30付けの連絡文書をご覧ください

地引き網を楽しみながら
子どもたちと楽しいひと時を！！



※昨年度の様子

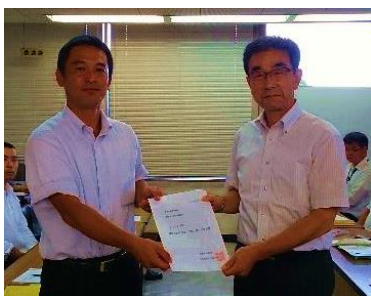
市町教育委員会へ来年度の予算要求を行う

湘南教組は、三市一町教委に毎年「教育施策・予算に関する要求」を行っています。具体的には、分会からの声、意見等をもとに、教職員の時間外労働の縮減、労働安全衛生体制の確立、市費非常勤講師の配置、小学校外国語にともなう教育環境整備等、さまざまな課題について要求しています。

全体交渉 (市全体の課題について、教育長、課長を前に交渉に臨みます)

各課交渉 (具体的な施策について、学務課、指導課等と話をします)

全分会交渉 (学校の課題について、教育委員会に要望します)



湘南教組は、夏から秋の日程で、三市一町の教職員や子どもたちにとって、よりよい環境整備がはかれるよう、上記の三つの場で、要求を行っていきます。あわせて、組織内議員の竹田さん、竹村さん、吉川さんも学校課題について、市議会で発言しています。要求の経過や結果については、今後、各地域協議会で報告します。

第67次 湘南教育研究集会 ~ 話そう 悩もう 考えよう ~

- ① 日時 2017年8月19日(土)
午前の部 9:30 ~ 12:00
午後の部 13:30 ~ 16:00
- ② 場所 鎌倉市立玉縄中学校
- ③ 参加体制 分会10割(午前、午後のどちらかに参加) * 1日参加も可



◎教研レポート提出

7月28日(金) 19:00までに<10部>印刷して<書記局>へ持ち込み

* 今回のレポートは共同研究者・推進委員への提出用となります。

* 教研当日には60部(1日開催分科会は120部)印刷して会場校へお持ち込みいただきます。